

西岡公園グリーンレター **最終号**「西岡公園グリーンレター」は、西岡公園の施設改修計画策定に関する情報をお伝えしています。
(計4回発行)**パーゴラ広場と駐車場周辺の再整備について**

札幌市では、西岡公園の豊かな自然を残しながら、誰もが安心安全に利用できるように再整備を進めています。これまで、管理事務所の建替や、水源池周辺の木道の改修などを行ってきましたが、今回は水源池から下流部にある「パーゴラ広場」と「駐車場周辺」の再整備を対象としています。

再整備の計画づくりについては、近隣にお住まいの方や公園を利用している皆さんから意見をうかがいながら進めてきました。

◆**第3回ワークショップを開催しました**

西岡公園の再整備に向けた、第3回目のワークショップ「再整備後の西岡公園を紹介します！」を2月4日（土）に行い、参加者7名の皆さんと西岡公園の水源池下流部にあるパーゴラ広場、月寒川、駐車場などの再整備計画について意見交換を行いました。

意見交換では、公園施設の位置や規模、改修の内容等について議論し、特に市民ボランティアとつくる「野はら」については、そのつくり方や管理方法についても話し合いました。



第3回ワークショップの様子

◆**再整備後の公園について**

これまで、市民の皆さんや関係する専門家から様々なご意見を頂きながら開催してきた3回のワークショップを通じ、西岡公園再整備計画の方向性（再整備後の公園）をまとめることができました。ご協力頂いた皆様、誠にありがとうございました。

令和5年度からは測量調査や詳細設計を行い、令和6年度以降の工事に向けて準備を進めてまいりますので、今後ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

詳しい再整備の内容は見開きページをご覧ください。



現状の公園



再整備後の公園

◆**第3回ワークショップでの意見**

※ワークショップではたくさんの意見を頂きましたが、紙面の都合上抜粋としています。

※ 参) 参加者 市) 豊平区土木部・北海道造園設計(株)

▶**パーゴラ広場の再整備について**

参) 芝生広場に車椅子でも行くことができるとあるが、どこまで進めるのか。

市) 今の自然環境を活かすことも念頭に、あずまやまでは容易に移動できるようにします。

参) フジ棚の“棚”は老朽化で撤去となっているが、フジ自体はどうするのか。

市) フジは本来、ここの地域の自然には無かった植物なので、自然度の高い現在の場所は好ましくないと判断しました。そこで、鑑賞木としてのフジに相応しい場所を考え移植します。

参) フジは弱っているようだが、移植は可能か。

市) 今は雪に埋まっているので、春に樹木医等の専門家に調べてもらい、移植方法等について相談したいと考えています。

▶**橋の位置・隣接地について**

参) 新しい橋を現在の八紘学園の橋と同じ位置に設置できないのか。

市) 今回の再整備ではバス専用駐車場を新たに設ける事を計画しています。

バス専用駐車場は現在の八紘学園の橋が架かる公園側の位置に設けるのが最適とし橋の位置を選定しました。

また、選定した位置は、駐車場で車と利用者が安全に往来できる配置となっていますが、現在の橋の位置に新橋を設けた場合、車道の曲線部と利用者の導線が交わる恐れがあります。

参) 現在の木橋の対岸側は歩くスキーなどの利用がある。その土地を購入して整備する考えはないか。

市) 現在の公園敷地内の再整備で諸課題を解決できるため、土地の購入等については必要ないと考えていますが、橋の位置が移ってもこれまでの利用を妨げないよう配慮いたします。



西岡公園の再整備計画について意見交換

▶**「野はら」について**（札幌市立大学矢部名誉教授より提案）

今回の計画において、市街地から山に向かって徐々に自然が深くなるという考え方が前提にある。

人が活動する芝生広場と現状維持の林の間に、その緩衝帯となる緑をつくることは有効と考えた。

「野はら」づくりは、通常の芝刈りより草丈を残したり、刈り込みの頻度を落とす等、自然の回復力を活かした手法で、本来、地域に自生していた多様な草花がここで見られる可能性が高い。

また、この手法で「野はら」をつくるためには、外来植物の除去（草むしり）等の人手が必要となることや、長い時間を要することなどから、市民ボランティアの参加も視野に入れ、楽しみながら取り組める仕組みをつくるのが望ましい。私（矢部氏）も、主体的に参加したいと考えている。



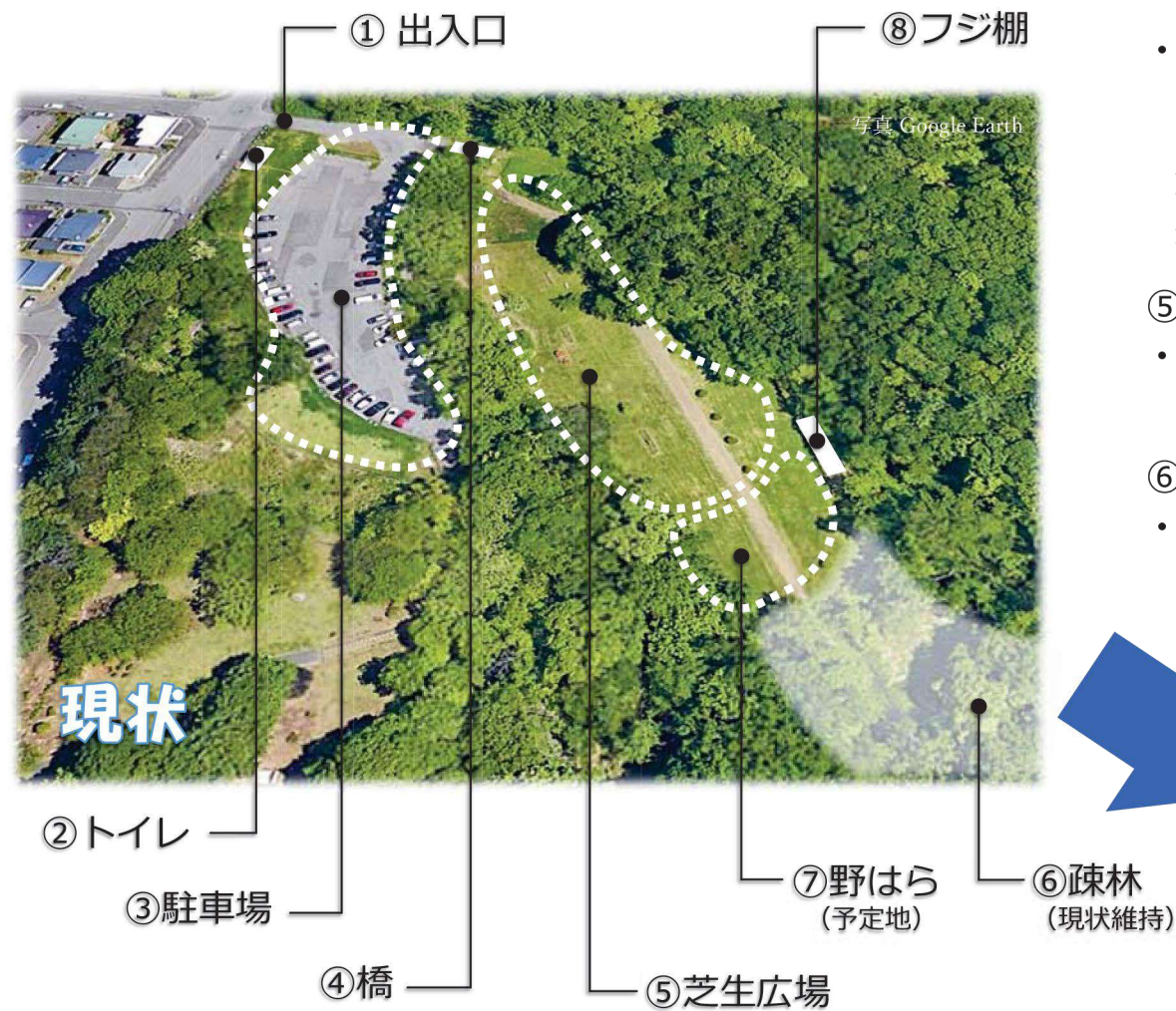
「野はら」のつくり方について説明をする矢部氏

ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。

■**西岡公園の再整備に関するお問い合わせ**

札幌市豊平区土木部維持管理課公園緑化係（担当：小田 電話 851-1681）
北海道造園設計株式会社（担当：佐藤、佐々木 電話 758-2261）

◆西岡公園再整備の内容を紹介します



④ 橋 (イメージ図 2)

- 公園敷地内で、現在の橋と近い場所に新しい橋を架けます。
- 橋は車椅子やベビーカーを含めた歩行者専用のもので、管理車両以外は自転車をはじめ一般車両の通行は規制します。



イメージ図 2：新しい橋から芝生広場を望む

⑤ 芝生広場

- これまでと同様の芝生広場ですが、地面の凸凹の解消や、川岸の樹木を補植するなど、緑地として修繕を行います。

⑥ 疎林 (現状維持：写真 1)

- 希少な鳥や多種のトンボが確認されている疎林のエリアは、今の自然環境を変えず、現状維持を基本とします。

⑦ 野はら (予定地)

- 芝生広場と現状を維持する疎林との間に、昔、人里で見られた在来の草花が広がる「野はら」のエリアを設けます。
- 「野はら」づくりに関しては、市民ボランティアと時間を掛けて行います。※市民ボランティアのご案内は、今後、西岡公園 HP 等で紹介します。

⑧ フジ棚 (写真 2)

- 老朽化が進んだフジ棚は、フジを支える構造物(パーゴラ)を撤去し、屋根付きの「あずまや」に交換します。
- フジ(樹木)自体は、雪解け後に専門家が生育状況を確認した上で、公園入口となる階段付近へ移植できるかを検討します。



写真 1：整備はしない疎林のエリア



写真 2：フジ棚はあずまやに交換

◆主な整備内容

① 出入口

- 駐車場を閉鎖する必要性が生じた場合に備え、新たに門扉を設置します。

② トイレ (イメージ図 1)

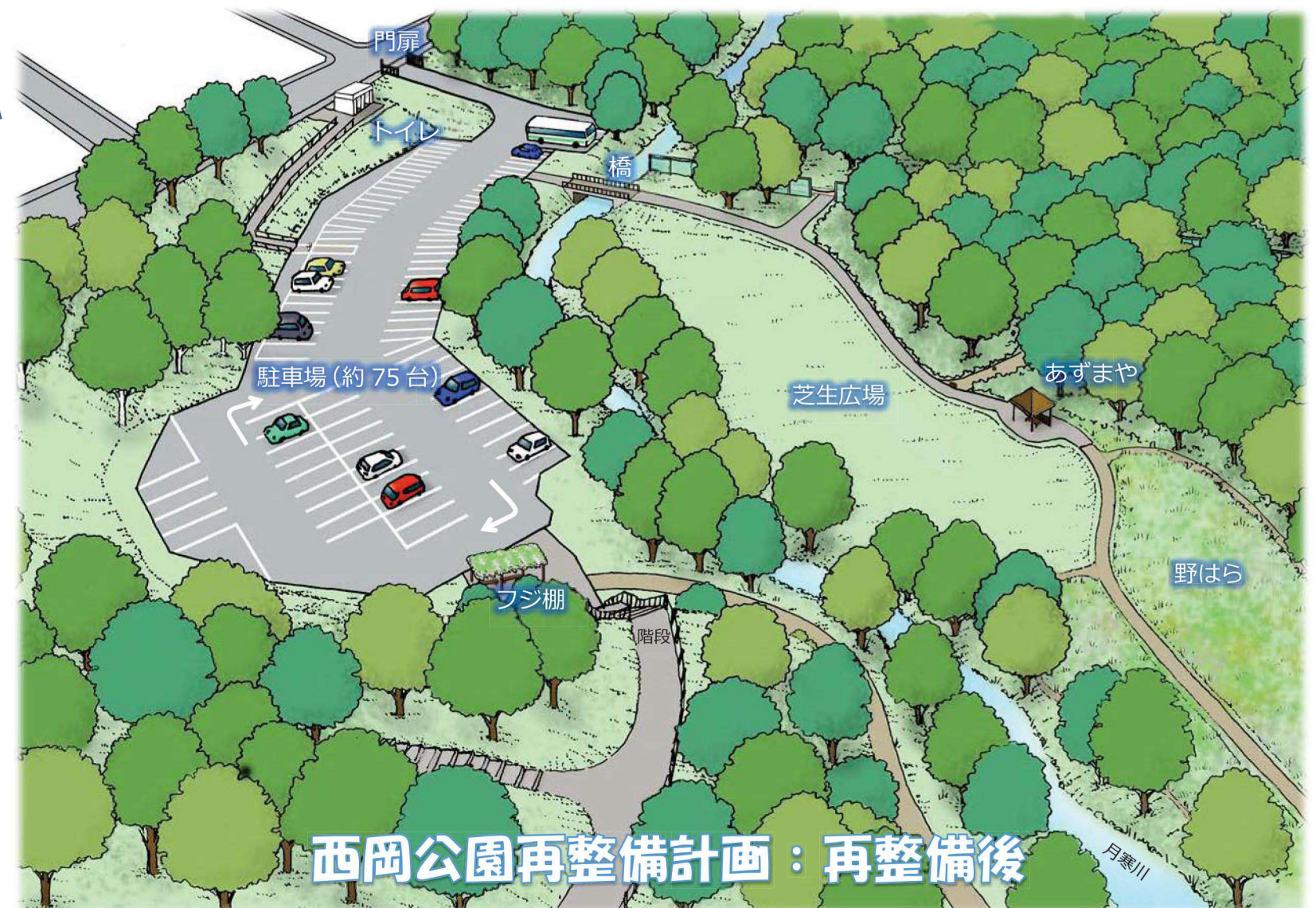
- トイレはバリアフリータイプに建て替えます。
- 駐車場からトイレまでは、車椅子でも移動できるようにスロープを設けます。



イメージ図 1：駐車場から新しいトイレを望む

③ 駐車場

- 現状の地形を活かしながら約 75 台(現状 50 台)の駐車区画を確保します。
- 駐車場の通路は行き止まりとせず、安全に引き返すことができるようにします。
- 幼稚園や学校の遠足・野外学習の際に訪れるバスの駐車区画も確保します。



注：橋については、今後、河川を所管する国・北海道との協議に向け、令和 5 年度以降から詳細な調査・検証を行います。協議によっては完成予想図と変わる場合があります。